

平成23年度幸区区民会議

第6回全体会議 安心・思いやり部会経過報告

平成24年1月26日

1

1. これまでの検討状況 (1)前回の全体会議の検討結果

(1)前回の全体会議の検討結果

取り組み項目	項目の具体的な内容(前回までの決定事項)
(1)「プレシンポジウム」の実施	・「震災発生時に困ったこと」を切り口に、地域の支えあい（共助）や、高齢者を対象とした交流の場づくりのあり方についての意見交換会を柱とした「プレシンポジウム」を実施する。 ・前半では、川崎市危機管理室が実施している「ぼうさい出前講座」の実施を想定し、調整を行っている。
(2)幸区民アンケートへの要望	・幸区が実施する「幸区民アンケート」に対し、安心・思いやり部会が関係する「高齢者支援について」「防災について」の設問への要望を行った。

専門部会における検討

- ・第9回専門部会 平成23年11月7日開催
- ・第10回専門部会 平成23年12月5日開催

3

2. 専門部会における検討 (1)「プレシンポジウム」実施の検討

(1)「プレシンポジウム」実施の検討

1)実施の目的と展開の方向性

専門部会での検討の中で、プレシンポジウム実施の目的と今後の展開の方向性を定めた。

- ・今後実施を検討するシンポジウムの「プレ」として、かつ南河原・御幸・日吉の3地区で実施するシンポジウムの第1回目（南河原地区）として位置付ける。
- ・地区別で実施することから、出された意見に地域差が見られる場合はその要因を掘り下げるなど工夫する。
- ・特に、緊急時における「共助の重要性」、弱者のサポートのあり方と交流の場づくりにフォーカスを当てる（震災はあくまで議論のきっかけ）
- ・まずは、「震災で困ったこと」というテーマを切り口に、話しやすい雰囲気づくりをし、活発な議論を引き出す。

2. 専門部会における検討 (1)「プレシンポジウム」実施の検討

2)意見交換会の展開方針

話しやすい雰囲気づくりをし、うまく議論を誘導していくため、テーマごとの展開方針を設定した。

テーマ1.「震災当日に困ったこと」(15分)

- ・震災当日に困ったことは誰もが言いやすいテーマなので、始めにこのテーマを設定し、「困ったこと」を把握しつつ、場の雰囲気も和らげていく。
- ・意見が出てこなければ、司会者が自分の経験を語る、会場にいる知り合いの方に声をかけるなどの工夫をする。

2.「震災当日に助かったこと(共助)」(10分)

- ・震災当日に、地域など「みんなに助けられた」「みんなで助けた」という話を中心に議論してもらう。
- ・「交流の場づくり」のエッセンスを抽出するため、そういった助け合いができた理由・日頃の交流や地域活動に関する質問なども適宜行っていく。

3.「地域の交流を促す、場づくりのために」(5分)

- ・「地域の交流を促す場づくりのために」に、行政にどのようなバックアップを望むのかを議論してもらう。
- ・単に「行政への要望」とすると際限がなくなるため、趣旨がしっかり伝わるように心掛ける。

5

2. 専門部会における検討 (1)「プレシンポジウム」実施の検討

3)プレシンポジウムの実施内容

①当日の実施内容

12/2(金)10時から以下の内容を実施した。

	項目	時間
準備	集合	9:00
	受付開始	9:30
開会		10:00
第一部	ぼうさい出前講座	10:05～10:45
休憩		10:45～10:55
第二部	意見交換会	10:55～11:25
	テーマ1「震災当日困ったこと」	(15分)
	テーマ2「震災当日助かったこと(共助)」	(10分)
	テーマ3「地域の交流を促す、場づくりのために」	(5分)
閉会		11:25

6

2. 専門部会における検討 (1)「フレッシュポジウム」実施の検討

3)フレッシュポジウムの実施内容

②当日の役割分担

当日の役割分担は、ぼうさい出前講座以外の部分については、区民会議委員が主導的な役割を担う形で実施した。

担当者		担当した役割
区民会議委員	戸張委員	意見交換会進行
	松脇委員	全体進行
	神谷委員、林委員	受付
	酒井委員、小林委員	誘導
川崎市 危機管理室	担当1名	ぼうさい出前講座の実施
事務局	企画課職員3名	会場運営、記録等
	コンサルタント1名	意見交換会補助等

7

2. 専門部会における検討 (1)「フレッシュポジウム」実施の検討

3)フレッシュポジウムの実施内容

③当日の様子(ぼうさい出前講座)

ぼうさい出前講座は、イラストや写真が入ったスライドを使い、テーマに沿ってポイントを中心に解説した。



8

2. 専門部会における検討 (1)「フレッシュポジウム」実施の検討

3)フレッシュポジウムの実施内容

④当日の様子(意見交換会)

意見交換会は戸張委員が進行役となり、会場に呼び掛けながら参加者の意見を引き出した。



9

2. 専門部会における検討 (1)「フレッシュポジウム」実施の検討

3)フレッシュポジウムの実施内容

⑤当日の様子(意見交換会)

意見交換会では、スタッフサイドと参加者サイドが向かい合う形の席配置とし、対話がはずむように心がけた。



10

2. 専門部会における検討 (1)「フレシンプोजウム」実施の検討

4)意見交換会における主な意見・感想等

意見交換会の中で、特に「共助」に関しては、主に以下のような意見や感想が出された。

- ・小さな子供を連れた自分の息子が都心で被災し、帰宅困難となった。自分は運転できないので、近所の方が車を運転して迎えにしてくれた。
- ・地震発生時、家に独りでおり、どうしていいかわからなかったの
で家の畑に出たら、近所の人「入れて」と避難してきた。不安が薄れ、安心できた。
- ・独り暮らしのおばあさんの話だが、震災時に広域避難所である学校に行った際、自分では得られない情報や周りの人がいたことで安心した。
- ・行政への要望だが、「共助」の妨げになるのが個人情報保護で、このせいで本当に家に隣接する家のことしかわからない。個々人の既存の繋がりだけでは限界がある。

11

2. 専門部会における検討 (1)「フレシンプोजウム」実施の検討

5)参加者アンケートの実施

①アンケートの項目

意見交換会終了後、参加者に対して任意のアンケートを実施した。

アンケートは、地域が弱者を見守り、ふれあいを通じて地域の支え合い活動を活発化させるという今回のメインテーマに関する意向を問う内容となっている。

幸区区民会議 安心・思いやり部会

地域における防災対策出前講座 アンケート

本日はお忙しいところ、「地域における防災対策出前講座」にご参加くださいましてありがとうございます。本日の出前講座の内容に関し、参加者の皆さまから広くご意見をお伺いしたいため、アンケートを実施させていただきますのでご協力をお願いいたします。

アンケートはこの用紙に直接記入し、お帰りの際に受付にあります「アンケート投函箱」にご投函ください。回答は、選択式の設問については該当する数字を○し、自由回答欄にはご意見を直接ご記入ください。(以下、設問になります)

問1. あなた自身の年齢と同居者の有無などについて教えてください。

○年齢

1. 49歳以下 2. 50～64歳 3. 65～74歳 4. 75歳以上

○同居者の有無など

1. 独り暮らし 2. 同居者がいる 3. 施設などに入居している 4. その他

問2. 独り暮らしのお年寄りなど、特に日常生活で弱者となる方々を地域が見守り、交流などふれあいを通して地域の支え合い活動を活発化していくためには、どんなことが必要だと思いますか。(以下から2つまで選んで○をしてください)

1. 地域の皆が好きなときに気軽に集まれるような「交流の場(場所)」を作ること
2. 地域の皆が気軽に参加できるようなイベントを行うこと
3. 地域の課題や解決策などを、地域の皆で話し合う機会を増やしていくこと
4. 地域活動が特定の年齢層で固まらないよう、広く参加を呼びかけていくこと
5. 行政が地域活動に職員を派遣したり活動の助成金を増やしたりすること
6. その他()

問3. 地域の交流や支え合いを活発化させていくことに対し、必要なことや課題となることなどについて、ご意見をお聞かせください。(以下に直接ご記入ください)

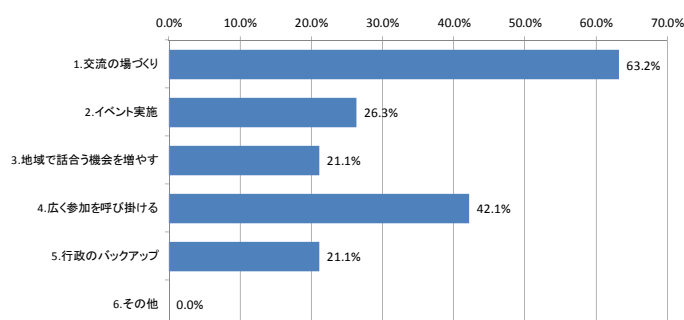
12

2. 専門部会における検討 (1)「フレッシュポジウム」実施の検討

5)参加者アンケートの実施

②アンケートの結果(概要)

フレッシュポジウムのテーマである、「ふれあいを通じて地域の支え合い活発化させるために必要なこと」は何かとの設問に対し、全体の2/3弱が「交流の場づくり」を挙げており、他の選択肢より高くなっている。



13

2. 専門部会における検討 (1)「フレッシュポジウム」実施の検討

6)シンポジウムの今後の展開

シンポジウムについては、日吉地区・御幸地区においても同様の内容で実施する予定である。

意見交換会の方法については、複数のテーブルに分けるなど、より多くの方の意見を把握できるような工夫をしていくことを検討している。

地区名	開催日時	場所
御幸地区	平成24年2月14日(火) 10:00～11:30	幸区役所5階第1会議室
日吉地区	平成24年2月23日(木) 10:00～11:30	日吉合同庁舎(日吉出張所)2階 会議室

14

2. 専門部会における検討 (2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業の検討

(2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業(ソフト面)の検討

1)今後の方向性についての検討

部会の中で今後の方向性について検討した結果、概ね以下のような意見に集約された。

- ・ソフト面での取り組みを進める上では、利用者のニーズをしっかりと踏まえた上で行う必要がある。
- ・このため、ソフト面についての利用者のニーズを把握することが必要であり、ニーズ把握そのものが意義のある取り組みと考えられる。
- ・ニーズを把握するだけでなく、利用者が満足できる具体的なソフト施策の実施が重要であることから、区民会議委員のネットワークを通じ、既存の取り組みと連携していくことを検討する。

15

2. 専門部会における検討 (2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業の検討

(2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業(ソフト面)の検討

2)実施を想定する具体的な取り組みの内容

部会の中で、今後実施を想定する具体的な取り組み内容について検討した。

取り組み項目	項目の具体的な内容
(1)利用者へのニーズ把握(アンケート)	・夢見ヶ崎公園の利用者に対し、既存の取り組みへの満足度・認知度や、公園へのニーズを把握するアンケート調査を実施。
(2)夢こんさあと	・幸区役所と区民のパートナーシップにより平成9年から実施されている「夢こんさあと」と連携し、夢見ヶ崎動物公園において屋外コンサートを実施(初夏を想定) ・実行委員である神谷委員を通じ、調整を開始。

16

2. 専門部会における検討 (2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業の検討

(2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業(ソフト面)の検討

3)実施した取り組み(利用者アンケート調査)

利用者のニーズ把握に関する取り組みとして、夢見ヶ崎公園で実施された「日吉まつり」において「利用者ニーズ調査(アンケート)」を実施した。

調査では、公園利用者の特性、現状の取り組みの認知度・満足度、将来像(ニーズ)などを把握した。

アンケート実施日時	平成23年11月20日(日曜日)
アンケート対象	夢見ヶ崎公園の利用者
調査方法	区民会議委員等による利用者への聞き取り
有効回収数	101票

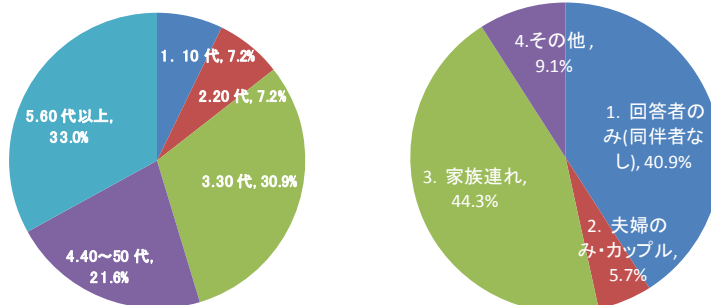
17

2. 専門部会における検討 (2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業の検討

3)実施した取り組み(利用者アンケート調査)

①主な調査結果(利用者特性)

- ・年齢層は、30代が3割と多くなっているが、10代～60代以上まで、広く利用されている
- ・同行者の状況は、家族連れが44%、独り(同伴者なし)が41%となっている。



18

2. 専門部会における検討 (2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業の検討

3)実施した取り組み(利用者アンケート調査)

②主な調査結果(これまでの取組の認知度・満足度)

- ①地域の方々による草木の手入れや季節の花植え
 - ・認知度は高くないが満足度は相対的に高い
- ②動物園祭りなどのお祭りイベント
 - ・認知度も高く、満足度も相対的に高い
- ③「夢こんさあと」や「さいわい街かどコンサート」などのコンサート
 - ・認知度があまり高くなく、満足度は普通
- ④公園までの案内サインの整備
 - ・認知度はかなり高いが、満足度は高くない

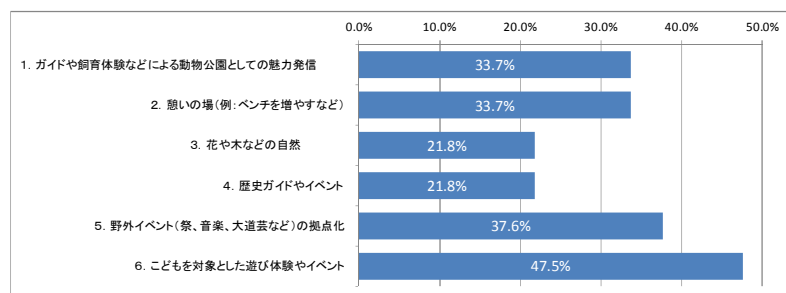
19

2. 専門部会における検討 (2)夢見ヶ崎公園の魅力発信事業の検討

3)実施した取り組み(来場者アンケート調査)

③主な調査結果(将来像についての意見・要望)

- ・将来のあり方については、「子供を対象とした遊び体験やイベント」のニーズが高く、「野外イベント」がそれに次いで高くなっている。
- ・このため、特に子供が楽しめるような内容の野外イベントの充実に大きなニーズがあると考えられる。



20